

PCB 含有廃安定器の処理コスト削減

～PCB 処理期限を見据えて、迅速で確実な調査を実施します～

● PCB 含有廃安定器の処理課題

昭和 32 年 1 月から昭和 47 年 8 月に製造された蛍光灯安定器の一部には PCB が使われていました。しかし PCB 不使用安定器も多数混在しており、中間貯蔵・環境安全事業(株) (以下、「JESCO」) では、これらの安定器についても高濃度 PCB 廃棄物とみなして処理を進めています。

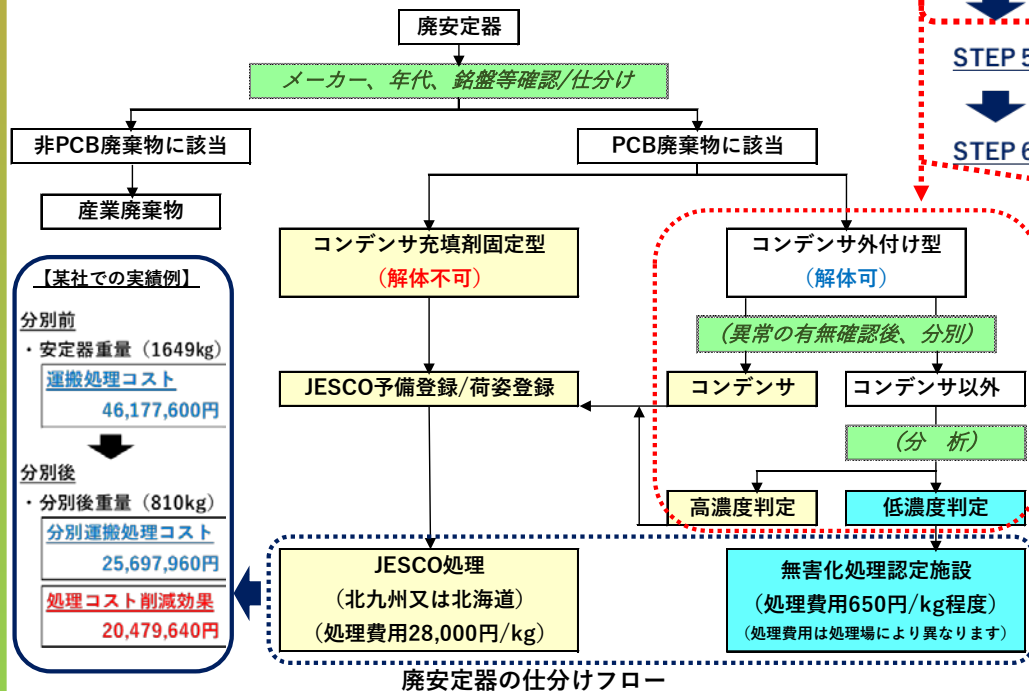
また PCB 対策特別措置法では処理期限が決められており、行政は PCB 廃棄物所有者に対して速やかな処理を進めるように指導しています。JESCO での処理費用は所有者にとって高額なため、この負担が経営上の課題になっています。



保管されている安定器

● 処理コスト削減のためのトータルソリューション

蛍光灯安定器は、PCB 含有の可能性があるコンデンサ (外付け型) とコンデンサ以外の残部材に分別することができます。この分別作業によりコンデンサのみを JESCO へ持込み、また残部材については汚染の有無を確認後、処理費用がより安価な無害化処理認定施設 (低濃度 PCB 処理施設) で処理を進め、全体コストの削減を図ります。また JESCO への登録関係や無害化処理認定施設への手配等も支援致します。このようにお客様の状況に合わせて、安定器の分別、分析、処理手配等のトータルソリューションをご提供致します。



【全体作業の流れ】

- STEP 1 安定器保管場所の現地確認
(現場での保管量、場所等の確認)
- STEP 2 作業内容・お見積のご提案
(作業によるコスト削減内容をご提案)
- STEP 3 業務委託契約の締結
(ご発注時に契約を締結)
- STEP 4 現地での分別・計量等作業
(迅速かつ確実に作業を実施)
- STEP 5 JESCOへの登録支援
無害化処理認定施設への手続き
(運搬、処理までの全体支援)
- STEP 6 作業完了



現場作業の状況



分別後のコンデンサと残部材

測定のご相談、ご用命は

株式会社環境総合リサーチは株式会社建設技術研究所 (CTI) グループの一員です。



株式会社
環境総合リサーチ
Environmental Research & Solutions Co., Ltd.

e-mail : contact@ctiers.co.jp URL : http://www.ctiers.co.jp/

本社・けいはんな事業所 : 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台二丁目3番9
Tel.0774-41-0200 Fax.0774-95-6510
中部事業所 : 〒444-0012 愛知県岡崎市栄町4丁目1番地
Tel.0564-21-0062 Fax.0564-65-5277
東京事業所 : 〒135-0016 東京都江東区東陽6丁目5-6
Tel.03-6666-0570 Fax.03-6666-0571